

農業参入フェアについて

令和7年10月
農林水産省経営局

農業参入フェアの概要

- 平成26年度から農業への参入を希望する企業に対して、
 - ① 企業を誘致したい都道府県、農地中間管理機構（農地バンク）とのマッチングや相談対応
 - ② 先進的な参入事例等の発表を実施。
- 令和7年度は、新たに『農業参入企業と農林水産省幹部のトークセッション』をオンライン開催（9月19日）し、本年12月に東京・大阪においてフェアを開催予定。また、トークセッションのアーカイブ動画は、農業参入フェアHPで近日、公開予定。

開催概要

① 説明・相談ブース

全国の企業を誘致したい都道府県や農地バンクによる
・「地域の特色」、「各県の借り受け可能な農地の情報」、「県独自の支援策」の提供に加え、
・参加者の農業参入に関する相談に個別に対応

昨年度の様子



② セミナーコーナー

講演方式による情報提供
・農業参入をテーマとした農業専門家による基調講演
・農業参入した企業による参入した経緯や参入時の苦労、企業の取組の事例講演

昨年度の様子



これまでの開催結果

年 度	参加者 注1	開催地
令和2年度	218人 注2	東京、大阪
3年度	447人	東京、大阪、福岡
4年度	529人	東京、大阪、福岡
5年度	514人	東京、大阪
6年度	515人	東京、大阪

注1 参加者には、出展者等を含まない。
注2 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、参加人数を制限。

農業参入フェア2025

東京会場	大阪会場
日時: 令和7年12月17日(水) 会場: 東京国際フォーラム	日時: 令和7年12月9日(火) 会場: 大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)

農業参入フェア2025（東京会場）

- 説明・相談ブースでは、都道府県の農業参入窓口や各府県の農地中間管理機構が出展し、農業への参入を希望する企業からの相談に個別に対応するほか、支援策の紹介などを実施。東京会場では、全国から約35団体が出展予定。
- 講演方式によるセミナーでは、①（株）農林中金総合研究所の石田 一喜 氏による基調講演、②（株）マイファーム、北海道エア・ウォーター・アグリ（株）による事例講演。

日時 令和7年12月17日（水） 12:30～17:00

場所 東京国際フォーラム
（東京都千代田区丸の内3-5-1）

内容



イベントサイト



参加申込サイト

【基調講演】

（株）農林中金総合研究所 石田 一喜 氏

「企業による農業参入の最新動向」

農業者の高齢化、後継者不足が進み、企業による農業参入への期待が高まる中、その最新動向を概観し、今後の可能性と参入時のポイントをまとめる。

【事例講演】

（株）マイファーム 代表取締役 西辻 一真 氏

「次代を拓く コングロマリット経営～自産自消のできる社会をつくる～」

農業の未来に向けて、「株式会社」「学校法人」「コモンズ（農協）」三位一体のコングロマリット経営で、社会全体で自産自消のできる仕組みの構築を目指す。

北海道エア・ウォーター・アグリ（株）

代表取締役社長 農端 洋行 氏

「農業を取り巻く課題への取り組みと今後のアグリビジネス」

エア・ウォーターグループは北海道千歳市のトマト農場を取得し、農業事業に本格参入。人手不足・栽培コスト増・気候変動・物流問題等の農業を取り巻く経営課題への取組、農業の成長産業化に向けた取組を紹介。

相談ブース出展予定団体（約35団体）

北海道庁農政部	（公財）三重県農林水産支援センター
青森県農林水産部、（公財）あおもり農業支援センター	岐阜県農政部、ぎふアグリチャレンジ支援センター
宮城県農政部	大阪府農林水産部
福島県農林水産部、（公財）福島県イノベーション・コースト構想推進機構	岡山県農林水産部、（公財）岡山県農林漁業担い手育成財団
茨城県農林水産部	島根県農林水産部
群馬県農政部、群馬県農業公社	広島県農林水産局
埼玉県農林部、埼玉県農林公社	高知県農業イノベーション推進課
千葉県農地農村振興課、千葉県園芸協会	福岡県農林水産部
山梨県農政部	佐賀県農林水産部
長野県農政部農村振興課	長崎県農林水産部
静岡県経済産業部農業局、静岡県農業法人誘致推進連絡会	熊本県農林水産部
富山県農林水産部、富山県農地中間管理機構	大分県農林水産部
石川県農林水産部	宮崎県農政水産部
福井県農林水産部	（令和7年10月1日現在）

農業参入フェア2025（大阪会場）

- 説明・相談ブースでは、都道府県の農業参入窓口や各府県の農地中間管理機構が出展し、農業への参入を希望する企業からの相談に個別に対応するほか、支援策の紹介などを実施。大阪会場では、全国から約20団体が出展予定。
- 講演方式によるセミナーでは、（株）パソナ農援隊による事例講演。

日時 令和7年12月9日（火） 12:30～15:10

場所 大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）
（大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51）

内容

【事例講演】
（株）パソナ農援隊 代表取締役 田中 康輔 氏
「農業と食を核とした地方創生の取組」

パソナグループは淡路島の豊かな自然を資源に「農業」と「食」を核とした地方創生に取り組んでいる。
「農のある暮らし」の豊かさや、自然の恵みを取り入れ、豊かな暮らしを実現することの大切さを体感できる、畑をフィールドとした「Awaji Nature Lab & Resort」の取組などを紹介。



イベントサイト



参加申込サイト

相談ブース出展予定団体（13団体）

（公財）三重県農林水産支援センター	福岡県農林水産部
大阪府農林水産部	佐賀県農林水産部
兵庫県農林水産部	長崎県農林水産部
奈良県食農部、（公財）なら担い手・農地サポートセンター	熊本県農林水産部
岡山県農林水産部、（公財）岡山県農林漁業担い手育成財団	大分県農林水産部
広島県農林水産局	宮崎県農政水産部
高知県農業振興部	（令和7年10月1日現在）